

「道の駅」と大学の連携 <就労体験型実習(インターンシップ)>

- 観光や地域づくりを学ぶ学生が、夏期休暇を利用し、「道の駅」で就労体験型実習(インターンシップ)を実施。
- 地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ地域外の若者が交流することで、新たな価値の創造を図る。

実施イメージ



<期待される効果>

- 地域活性化の現場における将来の人材育成
- 若者の視点を活かした地域づくり、若者の元気による実行力のある企画の実施
- OHP作成やSNS等の若者のITスキル、情報ネットワークを活用した情報発信

※全国「道の駅」連絡会で双方のニーズをマッチング

これまでの実施例



「霧の森」(愛媛県四国中央市)

- ・地元イベントの企画立案、実施補助のほか、道の駅内で製造されている地元名産品の製造・販売の補助を実施。
- ・H25年度は10名受け入れ、うち7名は関西圏の大学から参加

- ・H15からこれまで約110名が実施
- ・そのうち2名が「道の駅」へ就職



大学生が企画したイベント



地元名産品「霧の森大福」

<就労体験型の実施スケジュール(予定)>

